

令和 3 年度 施策評価表

施策	1401 商店街の振興	施策担当部等	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
		施策担当課等	商工振興課	課長	長石 弘頭
施策の方針	商工会議所等の関係団体と連携し、賑わいのある商店街づくりを進める。また、中心市街地複合ビルや県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備などを踏まえ、中心商店街の活性化に取り組む。				
関連するSDGsのゴール	   				

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 中心商店街の空き店舗率	%	11	10 11.9	10 12.7	9 11.3	9 11.8	8 13.6	58.8%	58.8%
② 中央商店街の1日当たりの通行者数（6地点の延べ人数）	人	10,355	8,100 8,071	8,830 5,638	9,550 6,915	10,270 6,264	11,000 5,756	52.3%	52.3%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

令和2年度の空き店舗率は、前年度と比較して全店舗数が4店舗減少し、空き店舗数が2店舗増加したことにより、1.8ポイント悪化し、目標値の達成には至らなかった。
中央商店街の1日当たりの通行者数は、前年度と比較して508人の減となり、目標値を下回る結果となった。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	52,426	52,369	49,488	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	4,177	3,623	3,622	
	一般財源	48,249	48,746	45,866	
	人件費	5,250	8,511	-	
フルコスト	57,676	60,880	-		

施策の概要

140101	にぎわいのある商店街づくり	各地域の商店街の活性化を図るため、街路灯などの商店街共同施設の整備を支援するとともに、商工会議所等の関係団体と連携しながら、各商店街の魅力向上のための取組を推進します。
140102	中心商店街の活性化	JR大村駅周辺の中心商店街の活性化を図るため、中心市街地複合ビルや県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備などを踏まえ、空き店舗対策やにぎわい創出等に取り組めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>昨年度は新型コロナウイルスの影響で、店舗の営業時間の短縮等による街路灯の減少や通行量の減少など、にぎわいのある商店街づくりに取り組むことが出来なかった。</p> <p>また、空き店舗数の増加や新規出店者の減少など、テナントミックス事業においても新型コロナウイルスの影響が見られたが、引き続き、空き店舗解消と新規出店者に対する支援を行っていくため新たな対策を行っていく必要がある。</p> <p>ミライonの来館者を商店街へ呼び込むため、市民交流プラザ運営事業における交流イベント等を通して、ミライonや商店街等と連携したにぎわいの創出を図る取組を引き続き進めていく必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION（改善・改革）】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>ミライonと中央商店街、市民交流プラザが連携した事業を実施するとともに、効果的な情報発信を行い、ミライon来館者を商店街へ誘客し賑わいを創出する。</p> <p>テナントミックス事業においては、関連事業者等との連携を強化しながら情報発信を行うことで制度活用の促進を図り、新規出店につなげる。</p>
---	--

令和4年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	